

平成29年度(後期)助成団体及び活動

(長期継続活動支援事業)

番号	団体名	活動名	活動内容	青少年参加対象者
	住所	活動期間		人数
1	田川 de 寺子屋 プロジェクト	むすんでひらいて そば打って	<p>幼児の情操を育み、良い生活習慣を意識づけし身に付けさせるために、田川地区では保育所での偉人伝を語る情操向上事業などを実施されてきた。子どもたちに遊休地に蕎麦を播き、収穫し、蕎麦打ちまで体験させ、生産する喜びや食の基本である命を頂いていることへの感謝に気付かせることで、食の有難みが薄れている現在において、幼児期より良い生活習慣を習得させ、情操教育に結びつけようとするもので、今年度は、28年度からさらに規模を拡大し実施される。併せて地域の活性化にもつなげていこうとされている。</p> <p>〔食育関連〕 (28年度後期に助成歴あり)</p>	幼児 (2~6歳)
	田川郡川崎町	<p>[2年目]</p> <p>平成29年8月~平成30年3月 (平成28年度~平成30年度)</p>		120名
2	NPO法人 がんサポーターサポート	未来ある子ども達に伝えたい 「いのちのホームルーム」 がん教育プロジェクト	<p>がん経験者や看護師を学校に派遣し、授業の形態で「がん」への正しい知識や「生きること」の大切さを学ばせることにより、子どもたちの心身の成長を促すとともに、「がん」予防普及を図ってこられたもの。</p> <p>25年度3校、26年度15校であったのが、長期継続活動に取り組みされるようになって、27年度は28校、28年度は29校と着実に拡大している。</p> <p>3年目の29年度は、福岡市内だけでも既に138校で実施予定であるなど、大幅に増加する見込みである。</p> <p>(26年度、27年度後期、28年度後期に助成歴あり)</p>	小学校5・6年生 ~高校生 (10~18歳)
	福岡市東区	<p>[3年目]</p> <p>平成29年8月~平成30年3月 (平成27年度~平成29年度)</p>		15,000名
3	特定非営利活動法人 なかがわ自然楽会	遊休田畑を活用した青少年の 農業活動並びに食育活動支援	<p>東北大震災時に、支援活動として素人米作りを始め、現在まで継続してきたが、最近、子どもたちの参加が多く見られるようになったことを契機に、28年度から、子どもたちを中心にした農業体験事業に本格的に取り組むこととされたもの。</p> <p>子どもたちに農業体験をさせることで、水と緑の自然の中で自由な活動を与え、健全なる子ども時代を満喫させる。加えて、生産の喜びを感じてもらうために収穫祭を開催、この活動を続けることにより、子どもたちの人格形成や食育活動に結びつけ、地元への定着を図ろうとするもので、2年目の今年度は、子どもによるお米白書づくりも計画されている。</p> <p>併せて、耕作放棄田畑の蘇生、及びこれら農地所有者の元気回復も含めて、里山の復興につながる活動にしていく。</p> <p>〔食育関連〕〔環境保全関連〕(28年度後期に助成歴あり)</p>	5~15歳
	筑紫郡那珂川町	<p>[2年目]</p> <p>平成29年8月~平成30年3月 (平成28年度~平成30年度)</p>		15名~20名

平成29年度(後期)助成団体及び活動

(長期継続活動支援事業)

番号	団体名	活動名	活動内容	青少年参加対象者
	住所	活動期間		人数
4	羽根木東区寺子屋 (家庭塾)	「楽しく遊んで 楽しく学ぶ」 学校嫌い解消のための寺子屋	<p>地域のこどもたちに呼び掛け、「楽しく遊び楽しく学ぶ」をモットーに平成14年度から地道な寺子屋活動を実施されてきたもの。 27年度に、長期的視点に立って、読書活動の充実、2年目は野鳥・野草・花のスケッチ教室等自然環境面の充実に取り組んでこられた。 3年目の今年度は、寺子屋憲法3ヶ条を作り、子どもが主役であることを明示し、上級生が下級生の面倒を見るなど学校嫌い解消のための取り組みを充実させるとともに、16年間の活動の成果を報告書として取りまとめることとされている。</p> <p>(21年度、22年度、23年度、27年度前期、28年度後期に助成歴あり)</p>	6~12歳
	行橋市	<p>[3年目]</p> <p>平成29年8月~平成30年3月 (平成27年度~平成29年度)</p>		30名
5	NPO法人 田主丸町緑の応援団	中国沙漠植林ボランティアの旅 九州田主丸隊	<p>沙漠化を少しでも阻止するため、中国内モンゴル自治区のクブチ沙漠での植林活動に参加させるもの。 地元の子どもたちを参加させ体験させることで、地球規模の環境問題や緑化の必要性を学ばせるとともに、日中の子どもたちの交流の場を設け、国際感覚豊かな青少年の育成につなげようとするもの。 29年度も引き続き内モンゴル地域のクブチ沙漠へ中学生8名を派遣する。</p> <p>[環境保全関連] (27年度後期、28年度後期に助成歴あり)</p>	12~15歳
	久留米市	<p>[3年目]</p> <p>平成29年8月~平成30年3月 (平成27年度~平成29年度)</p>		8名
6	NPO法人 川塾北九州	紫川だれでもカヌー	<p>「川に学ぶ」という理念のもと、川での自然体験活動を通じて自然の素晴らしさと大切さを伝え、生きる力と感じる力を育むため、「紫川だれでもカヌー」を9月23日に、十分な安全管理のもと、障がいのある方を対象にカヌーや川遊びを体験してもらおうとするもの。 併せて特定外来植物のオオモフサの除去も行い環境整備を図ろうとされている。</p> <p>[環境保全関連]</p>	6~18歳
	北九州市小倉南区	<p>[1年目]</p> <p>平成29年8月~平成29年11月 (平成29年度~平成31年度)</p>		30名

平成29年度(後期)助成団体及び活動

(長期継続活動支援事業)

番号	団体名	活動名	活動内容	青少年参加対象者
	住所	活動期間		人数
7	篠栗森づくりの会	「森であそぼう」教室	幼児期や学童期の自然体験で、身体能力、五感や感性、生態系や地球環境への理解、社会性や自尊心を鍛えるため、四季折々の里山で川遊びや昆虫採集、柿ちぎり、植樹活動、野外調理等様々な活動に毎月取り組まれるもの。 併せて、大人が活動前日に下枝刈り等安全対策や環境整備を行い、里山の環境保全を図られている。 [環境保全関連]	3~12歳
	糟屋郡篠栗町	[1年目] 平成29年8月~平成30年3月 (平成29年度~平成31年度)		53名
8	劇団宮若レインボーカンパニー	市民ミュージカルの制作及び公演	平成18年2月の市町村合併で誕生した宮若市の記念事業としてミュージカル公演を実施したことを契機に市民が運営する劇団を作り、市の歴史や文化を題材に、ミュージカルを通して伝える活動を毎年実施されている。 毎年団員を募集し継続団員とともに新しい作品創りに取り組み、30年3月に「小さな神様がいた教室~玉房姫の物語~」で故郷の大切さを気づかせるミュージカル公演を行うこととされている。	7~25歳
	宮若市	[1年目] 平成29年8月~平成30年3月 (平成29年度~平成31年度)		23名

平成29年度(後期)助成団体及び活動

(短期活動支援事業)

番号	団体名	活動名	活動内容	青少年参加対象者
	住所	活動期間		人数
1	山の上のフリースクールSaita	自然の中で話そう! 食べよう! 感じよう!	自然豊かなキャンプ施設において、フリースクールに通う子どもたちと学校に通える子どもたちとの交流イベントを放課後に企画されるもの。 月2回、飯盒炊飯料理、物作り、学習、野菜作り等を通じて、友達との絆を深めて、子どもたちが力まずにコミュニケーションを取れるようになることを目指されている。	7歳～15歳
	糸島市	[1回目] 平成29年8月～平成30年3月		10名
2	特定非営利活動法人 福間津屋崎子ども劇場	ドラマ創作活動 ～自分たちで物語をつくって 発表しよう～	これまで子どものための優れた舞台芸術活動(舞台の鑑賞企画実施、劇団交流等)や子どもの諸活動(子ども祭り、子どもキャンプ等)、子どもの表現活動(ドラマスクール、太鼓、茶道等のサークル活動)、子どもや子育てに関する講演会や学習会など、多くの活動を実施されている。 自己肯定感が低く、コミュニケーション不足等で、自分にも対人関係にも自信が持てない現代の子どもたちに、ドラマスクールの手法を通してコミュニケーション力を育ててきたが、さらに表現力を養う場として、自分たちでドラマ(物語)を創り、芝居にして発表会を開催されるもの。	10～18歳
	福津市	[1回目] 平成29年8月～平成30年1月		15名